

「親育ちプロジェクト～親育ちを支える 子育て支援活動の取り組み～」

人間科学部
子ども教育学科
教授

堀内 ゆかり



研究シーズの紹介

子育て支援の重要性に関心が高まり、国の施策としての子育て支援の枠組みがようやく位置づいてきたと言えます。しかし、従来の子育て支援では、専門職による「子育て」の支援が色濃いがゆえに、一方で親の育児力を高めることに寄与しないと、一部の特別支援教育対象児の支援には十分に対応出来ない矛盾と悪循環をきたします。

包括的発達支援は、親の子育て力を高める観点をもった技法です。発達上の気がかりの理由が曖昧だったり、親の不安などから生じる二次的問題の予防や早期解決に功を奏します。

行政的取組においても、例えば、保健師の理解の深化、保健事業と特別支援教育のスムーズな連携が期待できます。



包括的発達支援で
「親育ち」をサポート

- 「親育ち」を支援する行政的取り組みが実現できます。
- 乳幼児健診などの保健師の関わり方がスムーズです。
- 保健事業と特別支援教育のスムーズな連携が図れます。

子育て支援室の取り組み

子育て等に関する
相談、援助

地域の子育て関連
情報の提供

子育て及び子育て
支援に関する講習

九州産業大学子育て支援室から



包括的発達支援の観点から「親育ち」をサポートするモデルを発信します！



New!

包括的発達支援の
発信

期待される活用シーン

- 自治体の乳幼児健診の整備をしたい。



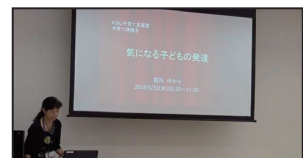
発達上の気がかりの早期発見、
二次的問題の予防



- 保健師、保育士など、就学前児の発達支援に携わる職種への研修を開催したい。



保健事業と特別支援教育の
スムーズな連携



その他の研究テーマ

遊戯療法に関する研究
虐待予防に関する研究